

引き継がれていくリーダーシップ これまでの3年生の頑張りに感謝します

生徒会選挙が実施され、いよいよ2学期からは、1、2年生が諸活動の主役になります。特に2年生は、日々の諸活動、新人大会や各種コンクールで活躍が期待されます。日常のあいさつから学校の中心になってほしいと心から願っています。

3年生の皆さんは、これまで、最上級生として素晴らしいリーダーシップを発揮してきました。4月の始業式の日、私は3年生の皆さんに「最上級生として、学校の中心となり手本を示してほしい。」と話しかけました。憶えている3年生はいるでしょうか。しかし、私がそのような事を話さなくても、しっかりとした自覚ある行動で、常に学校がよい方向に進むように頑張ってくれました。早いもので、あっという間に、学校行事もほとんどが終わり、各種大会も終え、1学期も終わろうとしています。

私は、昨年度末、2年生最後の大きな行事となった予餞会が、今でも脳裏に焼きついています。当時の3年生に向けての最高のパフォーマンスだったと思います。それからの皆さんは、それまでの成長を地盤に、大きく飛躍し、変化が目覚ましかつたと感じています。

特に、3年生全体の素晴らしさを感じたのは、修学旅行でした。大雨洪水警報が発令され、最悪の天候でしたが、冷静さと判断力を失うことなく、計画を素早く変更し、全員が集合場所に遅れることなく集まった時は、本当に嬉しかった事を今も思い出します。

きっと3年生の皆さんが、様々な活動で活躍できたのは、このように前向きな気持ちが、学年の中に満たされていたからだと思っています。

体育祭が終わり、気持ちが切り替えられているか気になって授業を参観していても、よく頑張っている姿が目立ちます。昨日は英語の授業で多くの生徒が挙手している姿に出会いました。3年生の今頃は、挙手する姿が見られなくなる事も多いのですが、意欲的な授業態度に感心します。理科社会、国語、体育、どのクラスを参観しても明るい空気感があり、嬉しいです。

これからは、進路に向き合い始めます。もうすでに意識高く頑張っている生徒も多いと思いますが、なかなか自分の思うようにいかない場合もあります。プレッシャーに押しつぶされそうになる事もあります。きっと気が滅入りそうになる事も多くありますよね。

例えば、一定の成果が現れ、6割前後だった点数が、大幅にアップしても、次の考査ではその点数が持ち点にはならないので、またダウンしてしまう不安もあるでしょう。一生懸命努力して、70点を取れたとしても、次の考査ではその点数から始まるわけではない事が辛い事です。周囲では、「この間は70点だったのだから、次は80点取れるよね。」と期待してしまいますし、私も若かった頃、「前回取れた良い点数が持ち点になってくれたら・・・。」と何度も思いました。

思うようにいかない時、ストレスが溜まってしまう時、3年生の先生方に相談してください。気持ちをはき出してください。皆さんの身近にいる3年生の先生方が、皆さんの顔色や表情をいつも見てくれています。ストレスの発散を他者に向ける事なく、自分の気持ちを正直に伝えたり、表現したりしながら乗り切ってください。これまで頑張ってきた3年生の皆さんが、自分の目的や目標を見失うことなく、見えない壁に立ち向かっていけるように願っています。